

天神・大名の変遷と街の将来像を考える

大央



当日は取引先企業経営者ら約160人が出席した

不動産賃貸・売買仲介業、不動産管理などを手掛ける(株)大央(福岡市中央区大名2丁目、松岡恭子社長)は10月18日、レソランTT夢天神ホールで創業50周年記念講演会を開催した。

天神・大名地区を対象に過去半世紀にわたる歴史や街の変遷を学び、将来街づくりの在り方について考える機会を設けたもので、当日は取引先企業経営者ら約160人が出席。松岡社長のあいさつ後、近代史研究家で企画プロデューサーの益田啓一郎氏、黒瀬武史九州大学大学院准教授の講演を聞き、江戸から現在までの間に起こった変化や現在も残る地理的特徴、天神・大名に期待される今後の都市・建築デザインなどについて講演。古地図や古写真、世界の都市デザイン紹介や統計資料などを背景に、具体的事例を交えた講演内容に出席者も真剣に聞き入っていた。



受付会場ではスタッフ全員で歓迎した。左から増田成泰増田石油社長、松岡泰輔大央副社長、右端は松岡社長



益田啓一郎
近代史研究家
企画プロデューサー



松岡恭子
大央社長



黒瀬武史
九州大学
大学院准教授



松岡社長と黒瀬准教授の対談では、地域特性を生かした将来の都市デザインの在り方について互いに意見を述べた

江戸から現在までの間に起こった変化や現在も残る地理的特徴、天神・大名に期待される今後の都市・建築デザインなどについて講演。古地図や古写真、世界の都市デザイン紹介や統計資料などを背景に、具体的事例を交えた講演内容に出席者も真剣に聞き入っていた。